

SDGs未来都市等進捗評価シート

2022年度選定

千葉県松戸市

2023年8月

SDGs未来都市計画名

松戸市SDGs未来都市計画

自治体SDGsモデル事業

Z世代を起爆剤に多様な主体が奏でる常盤平団地エリアのリ・ブランディング

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

松戸市SDGs未来都市計画

(2) 2030年のあるべき姿

本計画においては、「松戸市総合計画」における記載に基づき、2030年のあるべき姿として、「(1) 松戸市の将来都市像」とその実現のための「(2) 6つの基本目標」を位置付けている。(1)については「多世代がともにいきいきと思いきい暮らすことができるまち やさシティ、まつど。～つよくなやかに みんなで松戸の新たな時代を創ろう～」を将来都市像として提示し、(2)について「誰もが主体的に活躍できるまち」を全体の基本目標とした上で、6つの基本目標として①子育て・教育・文化②高齢者・障害者・福祉・健康・地域共生③まちの再生・リニューアル④雇用創出・経済活性化⑤防災・防犯・安全安心⑥SDGs（持続可能な開発目標）を推進する社会を提示し、2030年のあるべき姿としている。

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	年間 就業者数 【8.2,8.3,9.3,17.16,17.17】	2015年 223,000 人	2022年 225,000 人	2030年 232,000 人	22%
2	松戸市の支援を受けて市内で創業した創業者数 【8.2,8.3,9.3,17.16,17.17】	2019年 55 人	2022年 66 人	2030年 65 人	110%
3	市内でコンテンツ産業に本業または副業で携わっている人の割合 【8.3,9.1】	2020年 6.0 %	2022年 9.9 %	2030年 6.8 %	488%
4	体験型オーナー農園利用区画数 【2.3,8.2,9.b】	2020年 48 区画	2022年 27 区画	2030年 50 区画	-1050%
5	夢がある子どもの割合（小学生） 【1.2,1.3,1.b,2.1,2.2,4.2,4.5,16.2】	2018年 84.9 %	2018年 84.9 %	2030年 夢がある子どもの割合を増やします。	0%
6	夢がある子どもの割合（中学生） 【1.2,1.3,1.b,2.1,2.2,4.2,4.5,16.2】	2018年 64.6 %	2018年 64.6 %	2030年 夢がある子どもの割合を増やします。	0%
7	生きがいを感じている人の割合 【3.1,3.2,3.3,3.4,3.8,3.b,3.c,16.1,16.2,16.a,16.b】	2016年 75.5 %	2020年 74.5 %	2030年 80.0 %	-22%
8	身の周りで人権が守られていると 思っている人の割合 【2.1,2.2,5.1 5.5,10.3,16.3】	2016年 51.7 %	2020年 53.4 %	2030年 55.0 %	52%
9	災害に対して自ら対策を講じている人の割合 【7.2,7.3,7.a,13.2】	2016年 80.4 %	2020年 81.4 %	2030年 84.4 %	25%
10	地球環境に興味や関心を持っている市民の割合 【4.7,6.1,6.2,6.6,13.2,14.1,14.2,15.1,15.2,17.16,17.17】	2016年 23.4 %	2020年 21.1 %	2030年 35.0 %	-20%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
11	CO2 排出量の削減率 【11.6,12.8,13.2, 17.16,17.17】	2013年 基準年度	2019年 19 %	2030年 46 %	41%

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・【経済】・No2「松戸市の支援を受けて市内で創業した創業者数」については、「まど地域若者サポートステーション」や「松戸スタートアップオフィス」等の取組みもあり、就業者数や市の支援を受け市内で創業した創業者は、基準値と比較し増加。

・No3「市内でコンテンツ産業に本業または副業で携わっている人の割合」については、事業としてコンテンツ産業に携わる人の割合が伸張り、市内におけるコンテンツ産業の定着が見られる。

・No4「体験型オーナー農園利用区画数」については、当初値と比較し減少しており、担い手の確保等による取組みを進める。

・【社会】No7「生きがいを感じている人の割合」については、2023年度の調査で実態把握、それを踏まえた施策の実施等を検討していく。

・【環境】No10「地球環境に興味や関心を持っている市民の割合」については、2020年に減少しているが、今後2023年度の調査結果で現状の実態把握を行うとともに、2022年度（令和4年度）に策定された「松戸市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市民及び事業者と連携して取組を進めるとともに、有識者からの意見を受けながらゼロカーボンシティの推進のための政策を進めていく。

※なお、2022年の実績値未把握の項目については、直近の実績値を参考として「現状値」欄に記載。

No5.6「夢がある子どもの割合」についての調査は2023年度実施予定。

No8「身の周りで人権が守られていると思っている人の割合」、No9「災害に対して自ら対策を講じている人の割合」、についての調査は2023年度実施予定。

No11「CO2 排出量の削減率」について2022年度の指標値は2025年度末に把握。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2022年～2024年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
1	テレワークやサテライトオフィスなど多様なワークスタイルの実現	若者就労支援業務での就職者数	2019年 170名	2022年 189名			2024年 200名	63%
		福祉施設から一般就労への移行者数	2019年 108人	2022年 109人			2024年 123人	7%
		女性就労・両立支援相談の相談者及び講座等の参加者のうち就労決定者数	2019年 82人	2022年 50人			2024年 85人	-1066%
2	多くの企業が立地し、新たな産業が生まれる	企業誘致件数	2019年 0件	2022年 0件			2024年 3件	0%
		市内でコンテンツ産業に本業または副業で携わっている人の割合	2019年 6.0%	2022年 9.90%			2024年 6.3%	1300%
3	伴走型支援の充実	中小企業経営相談の件数	2019年 266件	2022年 428件			2024年 316件	324%
		展示会等出展支援事業補助金の交付件数	2019年 26件	2022年 28件			2024年 27件	200%
4	付加価値の高い都市農業の推進	松戸ブランド農産物を取り扱う市内販売店舗数	2019年 17店舗	2022年 23店舗			2024年 21店舗	150%
		体験型オーナー農園利用区画数（再掲）	2020年 48区画	2022年 27区画			2024年 現状維持	56%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2022年～2024年

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
5	安心して妊娠・出産・子育てができ、子供が健やかに育つ環境作り	入所保留児童を含めた待機児童数	2020年 288 人	2022年 85 人			2024年 180 人	188%
6	子育て世帯の移住・定住促進	結婚新生活支援事業による助成金支給件数	2019年 未実施	2022年 112 件			2024年 20 件	560%
		三世帯同居等住宅支援制度の利用件数	2019年 198 件	2022年 84 件			2024年 現状維持	42%
7	Z世代に魅力ある市立高校づくりを進める	学校評価アンケートによる市立松戸高校満足度の割合（生徒）	2019年 81 %	2022年 88 %			2024年 84 %	233%
7	Z世代に魅力ある市立高校づくりを進める	学校評価アンケートによる市立松戸高校満足度の割合（保護者）	2019年 90 %	2022年 87 %			2024年 90 %	-3%
8	多文化共生と文化芸術・観光の推進	文化芸術イベント等にクリエイティブな活動で携わる人数	2020年 242 人	2022年 521 人			2024年 338 人	290%
9	心身の健康の維持増進・高齢者の社会参画の推進	がん検診受診率	2018年 9.86 %	2021年 8.44 %			2024年 13.98 %	-34%
		「ゲートキーパー養成研修」の実施回数	2019年 1 回	2022年 5 回			2024年 1 回	400%
		一般介護予防の業務に基づく住民主体の通いの場の箇所数	2019年 64 箇所	2022年 82 箇所			2024年 103 箇所	46%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2022年～2024年

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
9	心身の健康の維持 増進・高齢者の社 会参画の推進	シルバー人材センター 就業実人数	2019年 1,751 人	2022年 1,644 人			2024年 1,877 人	-85%
10	自立した生活を支え る地域共生社会の 構築	福祉まるごと相談窓 口における相談件数 (延数)	2019年 3,131 件	2022年 5,480 件			2024年 3,456 件	723%
11	人権と平和が尊重さ れる地域社会の形 成	人権講演会参加者に おける「人権問題につ いての関心や理解が 深まった」人の割合	2019年 96.5 %	2022年 100 %			2024年 96.6 %	3500%
		平和事業参加者数	2019年 1212 人	2022年 1,469 人			2024年 1245 人	778%
12	男女共同参画の推 進	女性就労・両立支援 相談の相談者及び講 座等の参加者のうち 就労決定者数（再 掲）	2019年 82 人	2022年 50 人			2024年 85 人	-1066%
		小学生以下の子を持 つ男性のうち育児時 間が1時間未満の人の 割合	2016年 66.7 %	2022年 55.7 %			2024年 58.6 %	136%
13	みどりと暮らす豊かさ を実感できるまちづ くりの推進	みどりの利活用をサ ポートする新規参画 団体数	2020年 0 団体	2022年 16 団体			2024年 3 団体	533%
		桜並木の健全率	2019年 75 %	2022年 75 %			2024年 82 %	0%
14	居心地の良い街並 みへの取組が進んで いる	景観協定や地区計画 等まちづくりのための ルールづくりに着手した 地区数	2019年 11 地区	2022年 11 地区			2024年 12 地区	0%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2022年～2024年

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
15	駅を中心に、街が再生するいづきが感じられる	松戸駅の1日平均乗車客数	2019年 100,062 人	2022年 84,595 人			2024年 10万人程度 (現状維持を目指す)	-15%
16	人と環境にやさしい持続可能なまちの形成	地球環境に興味や関心を持っている市民の割合（再掲）	2016年 23.4 %	2020年 21.1 %			2024年 27.7 %	-53%
		総ごみ量	2019年 144322 t	2022年 137,229 t			2024年 142701 t	437%
		グリーンサポーターの人数	2019年 879 人	2022年 2,466 人			2024年 3,736 人	55%
17	自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進する	行政手続のオンライン化のための情報基盤の整備率	2019年 0 %	2022年 14.73 %			2024年 37 %	39%
		総合案内AIチャットボットの利用による問題解決率	2019年 0 %	2022年 22.99 %			2024年 22.5 %	102%
		標準化に準拠したシステムを利用する事務の割合	2019年 0 %	2022年 0 %			2024年 37 %	0%
18	大規模災害から生活や生命を守るための備えの充実	町会・自治会等のうち地域防災リーダーを設置している率	2019年 87 %	2022年 84.73 %			2024年 現状維持	97%
		災害時における即時性を持った情報伝達手段数	2019年 12 件	2022年 12 件			2024年 13 件	0%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2022年～2024年

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
18	大規模災害から生活や生命を守るための備えの充実	民間木造住宅等への耐震診断数	2020年 60件	2022年 24件			2024年 82件	30%
		民間木造住宅等への改修助成件数	2020年 30件	2022年 17件			2024年 41件	41%

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

令和5年1月に、SDGsに係る多様な主体の事業提案を受けるための「まつどSDGs×産学官民連携事業提案窓口」を設置し、行政だけではなく、民間事業者や大学・研究機関等と連携し、松戸が抱える課題及びその解決に向けたアイデアの共有・提案を受け付けている。

令和5年5月、企業版ふるさと納税制度による寄附募集を開始しており、市における地方創生SDGs事業について民間事業者による財政面での取組み参加支援を受けられる体制を整備している。

令和5年8月、松戸市版SDGs宣言登録制度として、「SDGs キャラバンメンバーシップ制度」を構築・開始しており、SDGsの推進に取り組む企業（事業所）及び団体等にSDGsに係る取組を宣言・登録いただくことで、SDGsの達成や地域課題の解決に向けた取組みの推進を図っている。

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- ・【経済/1～4】・No1「女性就労・両立支援相談の相談者及び講座等の参加者のうち就労決定者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当初値と比較し減少しているが、引き続きオンライン相談の機会も設けながら、利用者の維持・拡大を図っていく。
- ・No2「企業誘致件数」については、2013年に取組みを始めて以来、7件の実績もあり、引き続き民間企業のニーズや動向を注視しながら、誘致に取り組んでいく。
- ・【社会/5～12】各指標は概ね順調に推移。
- ・No9「がん検診受診率」や「シルバー人材センター実就職人数」については、一部新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当初値と比較し減少している。今後アフターコロナにおけるニーズや動向を注視しながら取り組んでいく。
- ・【環境/13～18】各指標は概ね順調に推移。
- ・No15「松戸駅の1日平均乗車客数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により当初値に対し大幅に減少しているが、アフターコロナにおける動向を注視しながら、取り組みを進めていく。
- ・No17「行政手続のオンライン化のための情報基盤の整備率」については、オンライン化すべき窓口手続きとして特定した手続きについて、順次オンライン化を推進する。

※なお、2022年の実績値未把握の項目については、直近の実績値を参考として「現状値」欄に記載。

No9「がん検診受診率」について2022年度の指標値は2023年度調査にて把握

No16「地球環境に興味や関心を持っている市民の割合（再掲）」についての調査は2023年度実施予定。

(4) 有識者からの取組に対する評価

- ・体験型オーナー農園利用区画数が減少しているため、目標値が適切かどうかの再検討が望まれる。例えばZ世代に訴求するものであれば計画に合致したものとされるが、そうでない場合は達成が難しいと史料する。
- ・地球環境に興味や関心を持っている市民の割合が減少してしまっているが、その要因の精査が望まれる。（モデル事業と共通）
- ・がん検診受診率が減少しているが、コロナ禍の影響なのか分析が必要と史料する。

2. 自治体SDGsモデル事業

(1) モデル事業名

自治体SDGsモデル事業名：Z世代を起爆剤に多様な主体が奏でる常盤平団地エリアのリ・ブランディング

(2) モデル事業の概要

『つよしなやかに、みんなで松戸の新たな時代を創ろう』という本市の将来都市像の実現に向け、本市が大切にしている包摂性の視点に立ち、市内で最も少子高齢化が進み課題が複合化している「常盤平団地エリア」を自治体SDGsモデル事業の実施エリアとし、今後の松戸市の発展を支えるZ世代がまちづくりに主体的にかかわる仕組みを構築していきながら、持続可能な未来都市の実現につなげる。取組としては、SDGsネイティブなZ世代を起爆剤として市内外の主体による事業マッチングを加速させることで、常盤平団地エリアの価値を改めて高めていく。

(3) 三側面ごとの取組の達成状況

取組名	取組内容	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
【経済】 ①-1 テレワークやサテライトオフィスなど多様なワークスタイルの実現	IT・コンテンツ産業の推進	市内でコンテンツ産業に本業又は副業で携わっている人の割合（再掲）	2019年 6.0%	2022年 9.90%			2024年 6.3%	1300%
	①-2 IT・コンテンツ産業の推進	地産地消の推進	2019年 17店舗	2022年 23店舗			2024年 21店舗	150%
	①-3 空き家や空きテナントの利活用促進	企業版ふるさと納税の活用	2022年 0事業者	2022年 0事業者			2024年 1事業者	0%
	①-4 地域農産物の商品開発を中心とした地産地消の推進	松戸市版SDGs登録認証制度の構築	2022年 0事業者	2022年 0事業者			2024年 100事業者	0%
	①-5 「(仮称)松戸市版SDGs登録認証制度」の構築や企業版ふるさと納税の活用							
【社会】 ②-1 子どもの遊びの創出と研究	Z世代によるアクションプランの提案、実施	Z世代によるSNS等での発信数	2022年 未設定	2022年 5回			2024年 23回	0%
	②-2 Z世代とのボランティア事業のマッチング（Let's体験・プロボノMATSUDO）							
	②-3 常盤平団地エリアでのレジデンス事業の検討	Z世代によるアクションプランの提案、実施	2022年 0件	2022年 0件			2024年 2件	0%
	②-4 Z世代とのビジネスコンテストの実施							

2. 自治体SDGsモデル事業

取組名	取組内容	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
【環境】 ③-1 グリーンインフラを活用した交流機会の創出	環境負荷の少ない取組の推進	地球環境に興味や関心を持っている市民の割合(再掲)	2016年 23.4%	2020年 21.1%			2024年 27.7%	-53%
	③-2 グリーンインフラを活用したウェルネストラックの整備検討	グリーンインフラを活用した交流機会の創出	2021年 2回	2022年 5回			2024年 4回	150%
	③-3 環境負荷の少ない交通システムへの転換(シェアサイクル等の検討等)	環境負荷の少ない交通システムへの転換	2016年 56.7%	2020年 61.5%			2024年 58%	369%

(4) 「三側面ごとの取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・【経済】企業版ふるさと納税制度、松戸市版SDGs登録認証制度については、令和4年度中の制度構築、募集開始に向けた調査研究を実施。令和5年度より制度運用開始させ、市公式ホームページやSNS等を中心とした発信を行い、広く募集を実施していく。

・【社会】市内の大学生を中心とした学生メンバーにより、SNS「松戸市SDGs公式note」へ活動状況や市内のSDGsの取組について取上げた記事を投稿することで、Z世代によるSNS等による発信を実施した。令和5年度以降定期的な発信の継続による情報発信を図る。また「Z世代のアクションプランでの提案による事業実施数」については、令和4年度に同メンバーがアクションプランの策定し、「まつどSDGsフォーラム」の場で提案を実施。令和5年度より提案を行った「アクションプラン」の実現に向けた事業を実施する。

・【環境】グリーンインフラを活用した取組として、UR都市機構が常盤平団地内で季節を変えてガーデンツアーを実施。団地住民や周辺の小学生を中心に地域資源に触れながら、交流を行う機会が創出された。令和5年度以降もこのような取組の継続を図る。

※なお、2022年の実績値未把握の項目については、直近の実績値を参考として「現状値」欄に記載。

「地球環境に興味や関心を持っている市民の割合(再掲)」、「電車やバスなどで市内を移動するための交通の満足度」2項目についての調査は2023年度実施予定。

2. 自治体SDGsモデル事業（三側面をつなぐ統合的取組）

(1) 三側面をつなぐ統合的取組名

Z世代×多様な主体との共創による「まつどSDGsプロジェクト」の推進

(2) 三側面をつなぐ統合的取組の概要

「まつど地方創生SDGsプラットフォーム」の連携を活かし、常盤平田地エリアの課題を解決する「まつどSDGsプロジェクト」において、Z世代を主役に、多様な主体との対話と共創による社会実験を通じて、Z世代が地域で活躍する好循環の仕組みを構築する。

(3) 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果

経済⇄環境	経済⇄社会	社会⇄環境
(経済→環境) 地産地消による地域活性化を通じたごみ量の削減 (環境→経済) グリーンインフラの保全と継承を活かした商品開発の実施	(経済→社会) Z世代の地元愛着率の向上 (社会→経済) Z世代の市内就職率向上	(社会→環境) 地球環境課題の自分ゴト化の促進 (環境→社会) 環境負荷の少ない交通システムによる健康増進

(4) 三側面をつなぐ統合的取組の達成状況

No	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度(%)
1	【経済→環境】 総ごみ量	2019年 144,322 t	2022年 137,229 t			2024年 142,701 t	437%
2	【環境→経済】 環境に配慮した商品開発	2016年 2件	2022年 0件			2024年 5件	-66%
3	【経済→社会】 20～29歳の住み続けたい人の割合	2016年 52.7%	2020年 58.1%			2024年 60.0%	74%
4	【社会→経済】 市内高等学校卒業時における市内企業就職率	2019年 5.0%	2022年 10.0%			2024年 8.0%	166%
	【社会→経済】 市内4大学卒業生における市内企業就職率	2022年 5.0%	2022年 3.6%			2024年 8.0%	-46%
5	【社会→環境】 地球環境に興味や関心を持っている市民の割合	2016年 23.4%	2020年 21.1%			2024年 27.7%	-53%
	【社会→環境】 Z世代によるイベント企画数	2022年 0件	2022年 1件			2024年 5件	20%
6	【社会⇄環境】 本人が健康であると思う人の割合	2020年 61.6%	2022年 61.6%			2024年 65.0%	0%

(5) 自律的好循環の形成に向けた取組状況

令和5年1月に、SDGsに係る多様な主体の事業提案を受けるための「まつどSDGs×産学官民連携事業提案窓口」を設置し、行政だけでなく、民間事業者や大学・研究機関等と連携し、松戸が抱える課題及びその解決に向けたアイデアの共有・提案を受け付けている。また、令和5年8月、松戸市版SDGs宣言登録制度「SDGsキャラバンメンバーシップ制度」を開始しており、今後、市内企業や団体の活動の見える化及び民間主体の連携の推進を図ることとしている。また、「まつどSDGsプロジェクト」については、令和4年度及び5年度において、地方創生に係る取組を行う大学ベンチャー企業に事業委託を行い、当該地域でZ世代の大学生が持続可能なまちづくりの企画・運営、提案、広報等に取り組んでいるところである。

(6) 「三側面をつなぐ統合的取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・【経済⇄環境/No.1、2】・No2「環境に配慮した商品の開発」については、令和4年度は実績0件となったが、令和5年1月に設置した「まつどSDGs×産学官民連携提案窓口」による事業者からの提案や、当事業において活動する大学生を中心としたZ世代等との産学官民連携した取組を推進する。

・【経済⇄社会/No.3、4】・No3「20～29歳の住み続けたい人の割合」については、今後の市民意識調査の調査結果を注視しながら、大学生を中心としたZ世代の学生メンバーの取組のすそ野拡大やSNS等の情報発信を行いながら、向上に取り組む。

・【社会⇄環境/No.5、6】・No5「Z世代によるイベント企画数」については、令和4年度に大学生を中心としたメンバーが提案した「アクションプラン」に基づき、令和5年度以降にイベントの企画・実施を行っていく。

・引き続き、大学生を中心としたZ世代のアイデアや発信、事業エリアでの活動と、産学官民が連携した取組みの推進、そしてその両方を有機的に結び付ける取組みを促進していく。

※なお、2022年の実績値未把握の項目については、直近の実績値を参考として「現状値」欄に記載。
No3「20～29歳の住み続けたい人の割合」「地球環境に興味や関心を持っている市民の割合」計2項目についての調査は2023年度実施予定。

2. 自治体SDGsモデル事業（三側面をつなぐ統合的取組）

(7) 有識者からの取組に対する評価

- ・このエリアに関する過去の経緯を踏まえ、課題に対して計画を立てていると評価できる。
- ・モデル事業の団地再生でZ世代をターゲットにしたのは興味深い。昔に作った団地という場所をリデザインしていく過程で若い世代に協力してもらうことが望まれる。
- ・受け皿として、プラットフォームのような継続的に見守るものが望まれる。
- ・小粒の取組という印象であり、せっかくZ世代を呼ぶのだから、もう少し大きく思い切った事業が望まれる。
- ・指標が必ずしも常盤平団地エリアに限ったものになっていないように見受けられるため、再検討が望まれる。Z世代によるブランディングアイデアを聞いて試してみる等、効果が市に及んでいるかという指標の選び方もあると考える。
- ・先導的な取組として、次の世代を展望できるような取組を期待していたが、アクションプランも内容が伴っていないと史料する。全部でなくても、今後この取組が次の松戸市を予測するというような勢いを持った推進が望まれる。